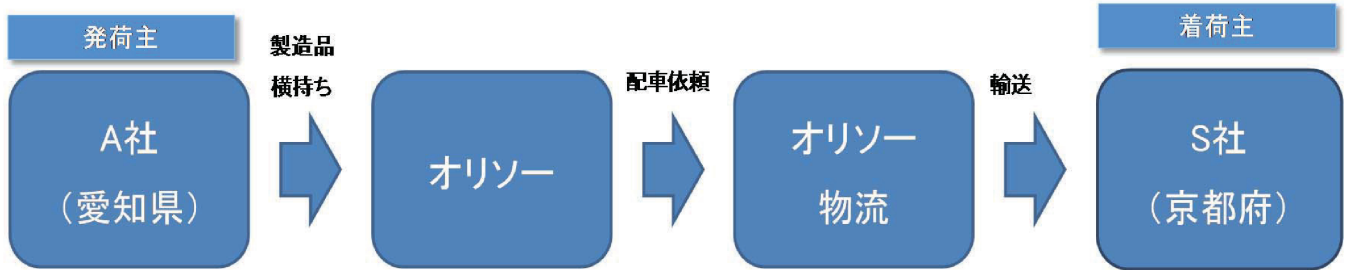


発着荷主の現場作業員との情報共有化による作業マニュアル化、待機時間を最小化する入門時間を踏まえた運行計画の策定 京都府

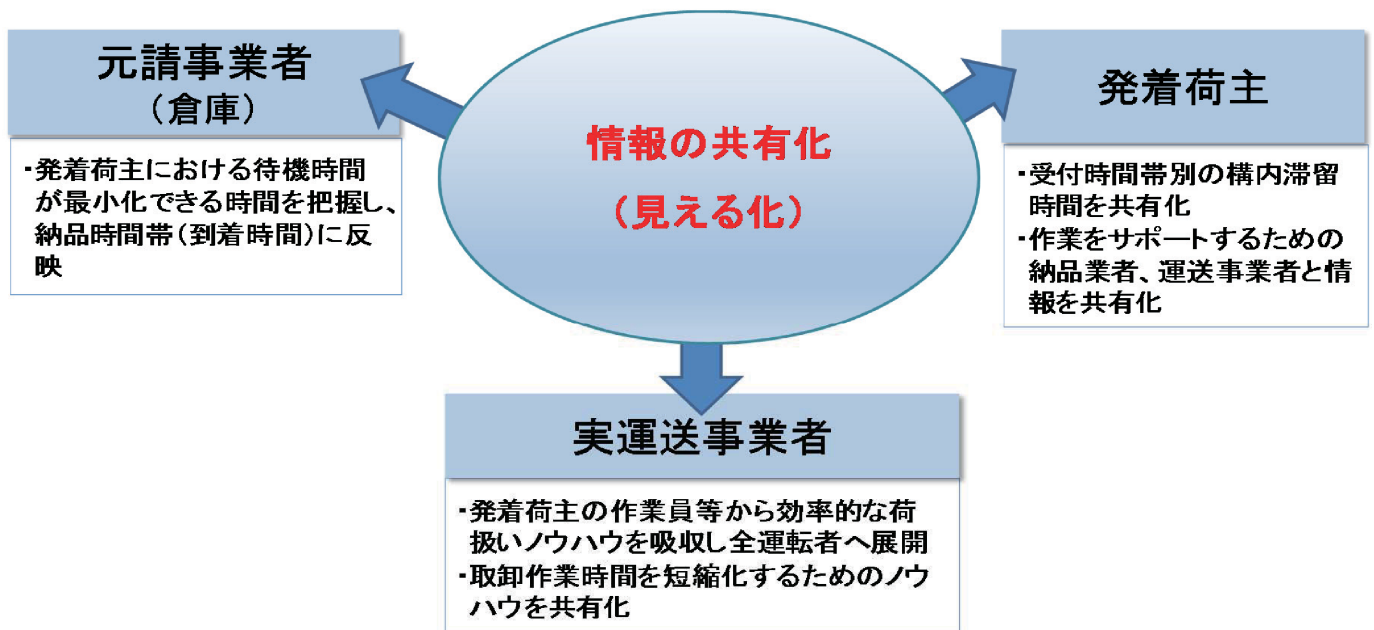
## 1. 実施者の概要



- 発荷主: A社(愛知県)  
プラスチックフィルム製品等の製造
- 元請運送事業者: オリソー
- 実運送事業者: オリソー物流
- 着荷主: S社(京都府)  
プラスチックフィルム製品の加工等
- 荷 種: プラスチックフィルム製品

## 2. 事業概要

- 作業員が行う積込・取卸作業について、運転者がより効率的にサポートできるために、作業員をサポートするための作業方法、倉庫格納前のパレット上での貨物整理など、予め手順等を共有化し、作業マニュアル化を徹底する。それを営業所の全ての運転者に展開。
- 発着荷主における待機時間についても、予め作業員と共有化することにより、待機時間を最小化できる時間帯を把握し、最短の待機時間を実現できる運行計画を立案する。

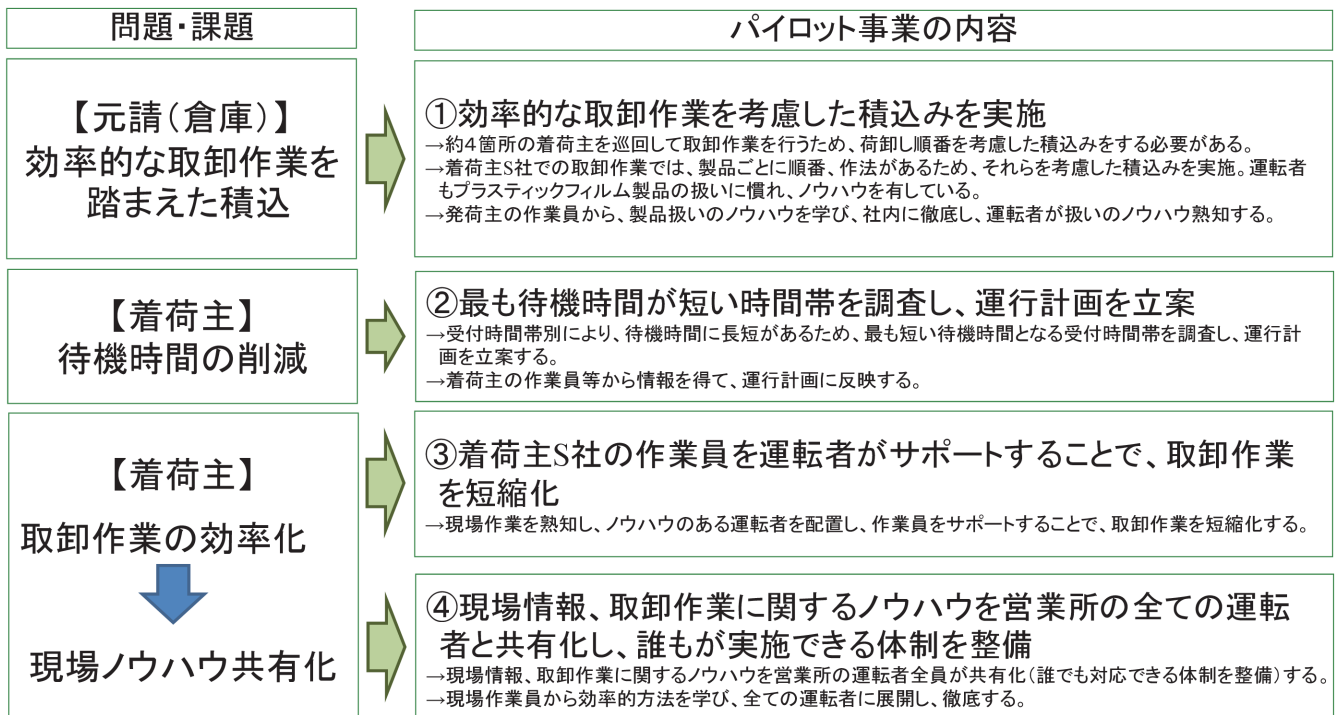


### 3. 課題

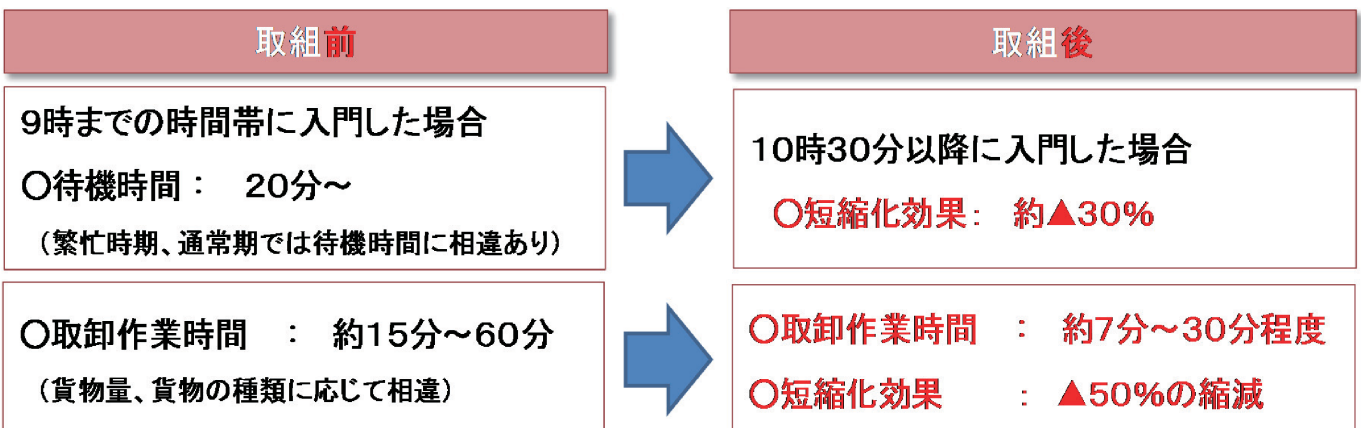
課題①: 運転者の長時間労働の抑制に向けて、着荷主における取卸作業時間をより短縮化する必要がある

課題②: 着荷主における受付から取卸場所までの接車時間を縮減する必要がある

### 4. 事業内容



### 5. 結果



### 6. 結果に結びついたポイント

- 着荷主を中心に、生産性向上及び長時間労働抑制に向けた意識が高く、取組が円滑かつ継続的に実施されたこと。